

令和3年度第2回 栃木県立日光明峰高等学校 学校運営協議会 議事録

日 時 令和3年8月3日(火)

10時00分～11時30分

場 所 栃木県立日光明峰高等学校

図書室(南校舎2F)

1 開 会

2 校長挨拶

第一回の学校運営協議会から本日までさまざまな学校行事を企画し、無事実施できている。この後説明にもある8月20日に行われる一日体験については、昨年度は中止になったが、おとし並の人数の生徒が希望している。

10月16日のオープンスクールに向けても様々な手を考えていきたいので、本日の運営協議会の中でも協議、忌憚のないご意見をいただきたい。

3 確認・報告(教頭より)

(1) 令和3年度中学校訪問

校長教頭メインで関係中学校44校訪問した

本校の指導体制についておおむね良い評価をいただいている

秋に2回目の中学校訪問を予定

(2) 県外生の動向及び受入体制

一日体験学習に対しては県外生から4名の申し込み

一日体験前日に部活動体験を実施予定で周知していたが、コロナウイルス感染症拡大のため今回は見送りすることになった

秋口に体験練習会を実施する予定で現在調整中

受入体制としては、入学式の際に連絡会の開催や下宿所の巡回教頭及び主幹教諭との懇談を設けている

県外の入学生が増えた際に問題になるのが下宿所であるので情報があれば教えていただきたい

県内の志願者の見込みは推測であるがアイスホッケー4～5名

スピードスケートは県内の競技人口も少なく現在はなし

(3) 令和3年度一日体験学習について(担当より)

参加生徒55名、保護者35名 全部で92名参加予定

一昨年の54名をクリアした年は申込み参加54名だった

体験授業(数学と英語)2コマを受けてもらう予定

生徒会企画の日光メホリンピック(ボッチャのようなもの検討中)

今年度は授業の見学時に個別相談ブースを用意(保護者対応)

4 協 議 (進行石井会長)

会長：この間、新聞報道等で様々なポジティブな情報をキャッチすることができた。また PTA の方の活動も聞いている。一日体験の応募が多くて良かった。コロナがあるがすべてキャンセルでなく部活動など丁寧な対応をやっていただきたい。

(1) 入学志願者の確保について

担当：魅力化推進より、一学期一番力を入れたのは学校案内の作成であった。今年はより時間とお金・アイデアをかけて厚みのある学校案内を作成した。今後上都賀地区の中学校3年生全員に配布する予定である。

明峰だよりについては8月と9月をまとめて作成し配付をする。

学校紹介のDVDに関しては、一日体験で使えるようお盆前には完成させるように手直し中である。

学校HPは校長先生を中心に見やすい形に移行している。

一日体験学習について、資料にある「合理的配慮」とは主に障害を抱えている生徒に対して学校でサポート体制を整え迎えることだが、本校はそれにとどまらずいろいろな部分で(経済的等)困り感をもっている家庭の保護者に対してのサポート体制の構築をしていることを中学校や保護者に話をして対応していきたい。

中学校訪問については教頭からあった通り。オープンスクールのチラシなどを学校案内と共に配付したい。

研究授業については、本校の授業を中校の先生にぜひ見学をしに来てほしいと思っている。いろいろな生徒が混在している中、学び合い、お互いを助け合いながら授業を行っている。10月頃、研究授業を企画し、中学校の先生をお招きし見ていただきたいと考えている。

最後に、資料にはないが、オープンスクール10月16日に実施の予定。

委員：「魅力化・特色化についてのアンケートの目的と実施前提」資料；前回の協議会にて保護者向けのアンケート実施の予定と伝えたが、進捗状況の報告をする。5月27日付けで一斉送信メールを使いアンケートを実施した。結果は資料をご参照いただきたい。このアンケートは「学校の選択の決定には保護者の意向が強く影響されている」そこから入学希望者を増やすためのヒントを得ようとしたことを目的としたものである。

アンケートの結果をもとにPTAでは学校内に3つの分科会を設置し、すでに活動を開始している。8月の一日体験学習や遅くとも10月のオープンスクールに向けて何かしらの成果が得られるよう各分科会で個別に活動を行っている最中である。分科会は以下の3つ；

- ①SNS分科会：保護者の視点で既存のHPとフェイスブックの見直しや追加のコンテンツを作っていく分科会

②広報誌作成分科会：ウィンタースポーツ（アイスホッケー・スピードスケート）の2つに特化した情報を、ターゲットをしぼって限定的に発信をする分科会

③課題検討分科会：以前から議題になっていた通学に関わる交通費・空き教室の活用、食育・図書室の一般開放（限定開放）などを検討中

である。どの分科会も急ピッチで目標に向けて進めている最中、次回の協議会で詳細を説明する。

会長：もう一つ学校運営協議会の舞台ができているようで頼もしい。来年度につながるため2学期少しでも進めていただけたら素晴らしいと思う。予算はどうなっているのか？

→本年度 PTA 予算 20 万程でうまく割り振って活動している。

広報誌の作成 15 万、残りの 5 万を SNS で新しいコンテンツや動画の作成
課題検討委員会は基本 0。

委員：良い取り組み、費用が大変かと思った。学校側等他から出るのか。SNS 分科会は OB 会でも同じようなことをしているのでそこのコラボレーションも良いのではないかと思った。

校長：学校でも分科会に参加して共働している状況。PTA の今年度の予算である。

会長：学校運営協議会に予算はあるのか？

校長：高校教育課に確認する。

委員：基本的には予算をかけないでやる予定で考えている。SNS 分科会担当は校長先生といったように、各分科会に学校関係者が入って協働している。パンフレットもウィンタースポーツに限定する。現状として部活動案内がないので県外の生徒にアイスホッケーやスピードスケートの魅力を伝えるために、パンフレットを作ろうということになった。

その他の中身についても魅力化と同じ原理で進めていく。短期決戦であるのでなんとか成果をあげられるように動いている。ご協力をいただきたい。

会長：PTA の保護者に大変な協力をいただいていることがわかる。

e スポーツや、ほかにも盛り上がっている部活動を紹介するものがないのは残念。うまく発信して明峰の魅力を伝えていくことが大事だと思った

（2）外部機関との連携

教頭：大きく2つに分類 日光市の支援と大学との協働

市の支援はアイスバックスへの業務委託による取り組みをしていただいている。本校2年生の強化指定選手の認定。またU18の候補としても期待されている生徒である。総合的な探究の時間においても、市の総合政策課を中心に指導支援をいただいている。

大学との協働においては、地域活性化のためのプロジェクトや昨年度作成

したポスターを駅・コンビニ等に掲示をしている。

委員：まちづくりの視点から、地域と連携して何かしたいと思い昨年度生徒からアイデアを出していただいた。今年度は実現に向けて1年生2人と2年生1人に立候補してもらい社会福祉協議会と一緒に何ができるか話し合った。高校一年生の2人が積極的でいろいろなアイデアを出してくれた。1つでも実現できるようにしていきたい。

委員：日光市のこのエリアは福祉のまちづくりの委員会を高校生が参画している委員会であることが特徴。魅力化と関連づけて欲しい。

会長：一日体験学習の時に日光市や我々大学でも皆で応援に来ようと（応援されている雰囲気は大事）学生5名を確保している。

（3）部活動の新設による生徒育成について

教頭：部活動新設の経緯は第一回運営協議会にて、委員より新設により入学志願者数の増加が見込まれるのではないかの意見があった。（eスポーツ部）

校内外で情報収集を行い資料をまとめた。その中でゴルフ部等の話題も上がってきた。

会長：部活の新設についてeスポーツの他にゴルフ部などの話題も確認できた。日光カンツリーのお金はどうなのか。ブリッツェンは自転車との関わりなのか？

教頭：ブリッツェンは日光というブランド力を使い大きなイベントレースを行いたいという思いがあるようである。選手たちは練習で日光を訪れており高校生に自転車の魅力を知って欲しいと考えている。本校で自転車部ができれば応援させてもらいたいと話をしていただいている。スピードスケート部は夏場の練習に自転車を利用している。ご意見をいただきたい。

委員：前回協議会が終了してから話をした。目的は入学志願者数の増加。将来的にもしかするとeスポーツがオリンピック競技になるかもしれないと言及されている。市場も拡大している。外出自粛が呼びかける時代だからできるスポーツであるとも捉える。また、福祉との関係性も考えられる。是非なんとか提案して欲しいとお願いしたところである。

委員：非常に興味を持っていた内容である。私はウィンタースポーツの中でそういったものを中心とした生徒集めがメインだったので言い出しにくかった。

今タイムリーな部活動でもあるので一人でも二人でも目指すきっかけになればインパクトがあるのでないか。本校は情報に関しての機器もかなりあるはず。条件がそろっているのではないか。大々的にアピールしてほしい

会長：自転車とスピードの相乗効果も期待できるのではないかと思った。

委員：卒業生のなかでもスケートをやっていた生徒で競輪の選手もいる。

委員：確認したいのだが、野球場の跡地はどうなっているのか？

→現在は少年野球チームに使用してもらっている。（教頭）

ゴルフは一時停滞した時期があるが日本選手が活躍し人口が増えてきた。野球場が荒れ放題なれば整備してゴルフ練習場ができるのではと思った。野球の稼働率が高くなければそういった面も含めてゴルフ部を創設してみたらと提案する。

委員：感想になるが、学校案内のパンフレットがすごく明るく楽しく生徒目線で作られたものである。PTAの活動も素晴らしい。学校とPTAが組織的に対応しており素晴らしい。冬のスケートと夏の自転車も基礎練習で関係しているのではないか。ブリッツェンと協働で練習してほしい。

食育についても小学校においても食事はとても大事。小中高と連携し何かを考えて子どもたちの生活が豊かになればと思う。

委員：e スポーツや自転車部・ゴルフ部など明峰高校の魅力を高めるためには良いと思うが、水を差すようだが取組にあたって学校で課題をどう整理しどう取り組むのか慎重に考える必要があると思う。

活動している部活動の数・休部の数・部員数・先生の数等の問題がある中で新しい部活を立ち上げるためということは何らかの資金が必要である。e スポーツでもコンピュータの通信環境やスペックが要求される。さらには専門性のある部であるので指導者や体制をどう考えるか。それを整備した上で取り組むのであれば地に足をつけて取り組める体制を学校が考える必要がある。

いろいろな話があるが、現実ベースに動かすことを一度立ち止まっても考えても良いのではと思った。特にe スポーツは新聞にも出ているので先行して話が進んでいくのかと思った。

また、外部機関との連携の中で日光市も協力させていただいているがコロナの影響で日光市役所も会議・イベントを中止し用という流れで表に出られない。連携を進めながらコロナの状況をふまえ学校側と相談し進めていく。

委員：部活動のこと。自転車やゴルフは指導者がいると思う。e スポーツも成績を残すためにそれなりの指導者がいないとだめではないか。1年2年は来るかも知れないがきちっとして指導者がいないという気持ちが強い。

また交通手段の問題として、バス・電車通学が多いのでなんとか解決しないと行けないのでは。学校でスクールバスは出せないのか（無料でなくても）と思う。

会長：もう少し意見をいただきたい。

委員：みなさんはe スポーツをどう捉えているのか。

ゲームはほどほどにとってきたがいつの間にかにスポーツになっている。推進の目的は何か聞きたい。

会長：認識を共有すべきである。各委員から伺いたい。

委員：私の考えでは、今の生徒はいろんな面での特性を持っている。はじめはゲームかもしれないが自分の目標を達成する等広がりを感じる。

（オリンピック競技になった）スケートボードと同じ感覚でだんだん市民

権を得てきているのでは。ひとりひとりの個性を活かしていくため、また、多様性という意味でもよいと思う。他人との関わりがあまりできない子たちにも、e スポーツを通して人をサポートするなり、将来を考える1つのきっかけとなる部活動になることを期待する。

委員：普通のスポーツとの差を考えてみたが、速く走る・遠くへ投げる等リスpektされたいということがベースにあると思う。e スポーツもそういった面では変わらないと思う。

また部活にするには時間軸でみると環境整備を考えてもてっとりばやい。また一番を狙いやすいのではないか。（ゴルフや自転車と比較して）

会長：部活動新設の際には目的や教育的な意味をPTAや教職員で共有が必要。今は分からないが10年後にはどこにもある部活になるかも知れない。強豪校にする必要もないと考える。選択肢の一つであり居場所を作ってあげることが大事であると考えている。

他方で指導者がいないと理念や価値観が伝わらないので先進の学校にヒヤリングをしたり、宇都宮大学のチームも賞をとったようなので協力したりできたら。指導体制を考えて進めていってもらっても良いのではと思う。

学校の担当などの負担もあるが、ゴルフや自転車も体制が丁寧に整うことができるのならポジティブに検討しても良いのではと思う。試しに週一回でもやってみようなど。あり方を検討していただきたい。特にe スポーツは早急に検討していただきたい。

交通の面は4年ほど前から何度も議論しているが前進していない

スクールバスについては本気で考えなければいけない。

委員：課題検討委員会でもんでいる。預けていただきたい。

5 事務連絡（事務局より）

次回 11月初旬開催 詳しい時間は後日

校長：貴重なご意見ありがとうございました。e スポーツに関しては調べたところ、無料ででき、単なるゲームではなくチームで戦略を練ってやるものであるということもわかってきた。

先進校の先生より話を聞くと練習試合のような形で相手校と対戦し、ネットであるのでアーカイブが残り振り返りもできる。そこで反省し次回への対策を練る。これは普通の大会を同じである。

本校はWSで集まる生徒の一方、配慮が必要な生徒も多数入学している。そういった生徒も居場所があって元気に学校に来ている。部活動で全国大会で活動する生徒がいる一方そ

ういった生徒の活動の場所があっても良いのではと思う。単なるプレイヤーの養成といったことで創設をしようとは思っていない。本校はボランティア活動も活発であり、e スポーツ部員がTV会議の操作の説明などの交流も考

えられる。またゲームに留まらず情報化社会を生きていくための生徒を育成するためのeスポーツ部としても捉えている。創部にあたり、フィルターの解除や回線のスピード等のハードルもある。ニコニコ本陣で回線の早い部屋も貸していただけるような話もある。課題は山積みだが考えていきたい。

他においては例えば自転車に飛びついてそこからスピードスケートもあるかと思う。ゴルフに関しても夏期登校日に日光カンツリーにお世話になるので地域の組織をうまく使って生徒の育成を図ることができればと思う。すでに那須高校にもゴルフ部があるので意見を聞きたいと思う。

本日は貴重なご意見ありがとうございました。

6 閉 会